

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 小宮山 健治 住所 中原区今井南町514-1 構成団体 NPO法人教育活動総合サポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	高津区役所総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数34,232人、貸室利用件数1,992件、展示室利用者数5,641人
収支実績	収入総額25,258,484円(指定管理委託費23,007,000円、利用料金収入2,207,450円、雑収入44,034円) 支出総額23,762,825円
サービス向上の取組み	・「ふるさと館だより」の拡充など、市民に親しみやすく魅力的な館の運営・広報に対して、指定管理2年度目として継続した取り組みを行っている。 ・出前教室や探検クラブ等のこどもを対象とした文化事業の実施など、新たな利用層の開拓にも努めており、常設展の観覧者が前年より増加している。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか	1	3	3
	事業成果の測定	事業実施による成果の測定が適切に行われているか。	1	3	3
	(評価の理由)	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っている。 高津区民祭、大山街道フェスタで積極的な協力を行うなど、地域の文化活動に貢献している。			
管理業務の実施状況	維持管理等	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	1	3	3
	利用料金	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	1	3	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	1	3	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	1	3	3
	人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	1	3	3
	人材育成	業務に関する研修を行い、職員の資質の向上に努めているか	1	3	3
	危機管理等	通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	1	3	3
(評価の理由)	基本的には、事業計画に沿った適切な施設管理がなされている。 ただし、担当者の失念で利用開始が10分遅延する事故を起こした点は指摘事項である。現場対応及び再発防止体制の構築は適切に行っているため直ちに減点対象とはならないが、再発防止策の確実な遂行を求める。				
事業実施状況	施設を活用したサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか。	2	4	8
		地域団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか			
	施設の利用に関する業務	利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか	3	3	9
		充実した広報活動等により、施設の利用促進が図られているか			
	大山街道についての資料の展示等に関する業務	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	3	3	9
		常設展示について、魅力ある展示の工夫につとめているか			
事業の開催に関する業務	郷土理解の促進に寄与する文化事業や市民のニーズに即した文化事業を行っているか	1	3	3	
(評価の理由)	事業計画に沿った適切な施設管理がなされている。 「ふるさと子ども出前教室」事業で、より深い「こども大山街道探検クラブ」事業へリクルートする仕組みを構築したことは、郷土理解に資する取り組みであること、また、学校等との連携を活用した取り組みであることから評価できる。 展示の工夫や文化事業との連携により常設展の利用者数は年々増加しており、市民に親しまれる館の運営ができていると評価できる。企画展の利用者数は前年比減少したが、21年度の企画展が非常に好評だったことを考慮すれば、一定の評価はできる。				

収支状況	安定性	適切な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	1	3	3
	効率性	市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行が図られているか	1	3	3
	(評価の理由) 収入の範囲内で経費をまかなっており、適正な予算執行がなされている。				

4. 総合評価

評価点合計	62	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 90点以上 B: 80点以上90点未満 C: 60点以上80点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

基本方針や運営方針に則り、継続して安定した管理運営を行なった。
 管理面では、少人数運営が不可避な施設ではあるが、指摘事項となった開館遅延事故防止などの観点から、指定管理者自身が提案しているバックアップ体制の強化に確実に取り組むことを求める。
 運営面では、「ふるさと子ども出前教室」から「こども大山街道探検クラブ」にこどもをつなぐ取り組みなどは、文化事業等のイベントを来館者層の開拓に活用できているといえる。施設が小規模でありながら常設展の利用者数が増加したことは、このような工夫・努力によるものと認められ高く評価できる。